

令和6年度の循環器病対策推進事業等について

令和6年度の循環器病対策推進事業

- 循環器病対策の医療連携に関する研修会
- 県民向けの普及啓発
- 脳卒中に関する意見交換会
- 心血管疾患の医療連携に関する検討会
- 令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
- 心不全再入院予防診療支援
- 心不全手帳の活用
- 先天性心疾患患者の支援体制構築

【継続】循環器病対策の医療連携に関する研修会

区分	内容
目的	患者、家族等への適切な情報提供や2次予防に重要な高血圧、脂質異常症をはじめとする生活習慣病の厳格な管理を担うかかりつけ医及び地域の循環器病対策に取り組む多職種の資質向上を図る。
内容	病診連携等に関する研修会を開催する。
対象	<ul style="list-style-type: none">・医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、理学療法士、作業療法士等の医療従事者・行政関係者・その他循環器病対策に関わる方 等
予定	2疾病（脳卒中、心血管疾患）を合わせて1回開催

次期計画の関連記載

- 患者、家族等への適切な情報提供や生活習慣病の厳格な管理を担うかかりつけ医等向けの研修会や症例研究会の取組を進めます。

【拡充】県民向けの普及啓発

区 分	内 容
目的	次期循環器病対策推進計画に基づき、県民向けに循環器病の予防等について普及啓発を行う。
内容	<ul style="list-style-type: none">・県民向けの講演会を開催する。・世界脳卒中デーや健康ハートの日等を中心として、SNS等の幅広い広報媒体を活用した啓発を行う。

次期計画の関連記載

- 世界脳卒中デー（10月29日）を中心に、脳卒中に関する知識を広め、脳卒中の予防について普及啓発を図ります。
- 脳卒中を疑うような症状（片側の顔や手足が動きにくい、ろれつが回らない、激しい頭痛）が出現した場合、本人や家族等周囲にいる者が速やかに受診行動ができるように、県民への脳卒中の正しい知識を普及啓発します。
- 健康ハートの日（8月10日）や健康ハートウィークを中心に心臓や心身の健康について知識を広め、心血管疾患の予防について普及啓発を図ります。
- 急性心筋梗塞や大動脈瘤・解離を疑うような症状（20分以上続く激しい胸痛等）が出現した場合、本人や家族等周囲にいる者が速やかに救急要請し、胸骨圧迫や自動対外式除細動器（AED）による電氣的除細動の実施ができるように、県民への普及啓発を更に推進します。

【新規】脳卒中に関する意見交換会

区分	内容
目的	一次脳卒中センターの連携を強化する。
内容	• 一次脳卒中センターの関係者の意見交換を実施し、地域ごとの課題の把握、対策の検討等を実施する。

次期計画の関連記載

- 地域の急性期医療機関と回復期及び在宅医療を含む維持期・生活期の医療機関等が、診療情報やリハビリテーションを含む治療計画、合併症等の患者の状態、家族の状況等を脳卒中地域医療連携パスやICT端末等にて共有及び意見交換し、リハビリテーション、合併症の治療、再発した場合の治療を連携して実施する体制づくりを推進します。
- 脳卒中の地域医療連携パスの普及、充実のために、記載項目の標準化や見直しの取組を進め、特に栄養状態や嚥下機能の評価を行うことによって円滑な嚥下訓練につなげる仕組みづくりを推進します。
- また、脳卒中の地域医療連携パスの活用を推進するため、医療機関間の情報共有におけるICTの活用を進めます。

【新規】心血管疾患の医療連携に関する検討会

区分	内容
目的	医療機関、関係団体、大学、民間企業、行政等の連携により、急性心筋梗塞等に関する地域医療連携パスを作成し、急性期を担う医療機関と回復期や慢性期・維持期等を担う医療機関の連携を推進する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 心血管疾患の地域医療連携パスの作成に向けた検討会を設置する。 循環器病対策に関する協定の枠組みを設ける。

次期計画の関連記載

- かかりつけ医・かかりつけ薬局等と専門的医療を行う施設の医療従事者との連携が適切に行われるような取組を進めます。
- 住み慣れた地域で急性心筋梗塞及び大動脈瘤・解離の各病期の治療を総合的に切れ目なく受けられるように、医療機関等の機能分化及び連携、さらには介護施設との連携を推進します。

検討スケジュール（予定）

R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3		
部会・協議会での協議		検討会準備・設置		検討										普及		
								部会							協議会	
協定準備				協定締結（随時）												

令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業（1）

国の令和6年度予算案に脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業に係る予算が計上された。



対応方針

- 以下の留意事項を示し、公募開始前に応募意向を確認
 - ・静岡県循環器病対策推進計画に基づき、静岡県循環器病対策推進協議会等と連携して、静岡県内全域での支援体制の構築ができること
 - ・脳卒中、心血管疾患の役割を分担し、2医療機関での応募も可能であること
- 応募意向が複数あった場合には、部会の委員による審査を実施
⇒複数から応募意向がなかったため、実施しない

スケジュール（予定）

時期	内容
～1月15日	応募の意向を確認
1月25日	公募要綱公示（公募開始）
～	応募病院と調整
2月22日	応募期限

令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業（2）

事業内容（令和6年度公募要綱）

都道府県の循環器病対策推進計画や、循環器病対策推進協議会等の議論も踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ① 循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ② 地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ③ 地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ④ 相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ⑤ その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

これまでの採択状況等

年度	国予算額	応募数	採択数	補助額
R4	2.0億円	28自治体（32病院）	10自治体（12病院）	2,000万円/自治体
R5	2.8億円	24自治体（27病院）	15自治体（16病院）	1,800万円/自治体
R6	2.2億円	未定	12自治体	1,800万円/自治体

【継続】心不全再入院予防診療支援

区分	内容
目的	心不全の包括的診療体制を構築する試みとして、心不全急性増悪の早期診断を可能とするデバイス（呼吸データを可視化）を導入し、心不全急性増悪の早期発見を図り、早期治療に結びつける。
導入施設	• 西部地区の、心不全治療の包括的診療体制を構築する主な急性期病院（4病院）
配布対象	• 導入病院4施設のいずれかに心不全で初回入院し、かつ、かかりつけ医が決まっている患者

【継続】心不全手帳の活用

区 分	内 容
目的	心不全手帳を活用し、生活習慣病の管理、医療連携パスとして利活用し、心不全患者の再入院を減少させる。
配布先	<ul style="list-style-type: none">・ 順天堂大学医学部附属静岡病院・ 静岡医療センター・ 静岡市立静岡病院（静岡市静岡医師会）・ 磐田市立総合病院・ 浜松医科大学医学部附属病院・ 浜松医療センター・ 聖隷浜松病院・ 浜松赤十字病院
今後の対応	協力医療機関の拡大に取り組む。

【継続】先天性心疾患患者の支援体制構築

区分	内容
目的	<p>小児期に先天性心疾患に対する外科的治療を行った場合、厳格な経過観察が必要な合併症を抱えることが多く、追加治療によって健康寿命が大きく変わるが、成人先天性心疾患（ACHD）患者に対する専門医療の提供状況について、情報把握が不十分である。</p> <p>県内ACHD患者情報を収集・登録するデータベースを構築し、エビデンスに基づく医療提供を推進する。</p>
導入施設	<ul style="list-style-type: none">• 県立こども病院
内容	<p><令和5年度実施事業></p> <ul style="list-style-type: none">• システム作成のための研究（登録項目等に関する検討会の開催等）• テスト版の作成 <p><令和6年度以降></p> <ul style="list-style-type: none">• 運用開始、関係者向け説明会・講習会の開催

【令和5年度】循環器病対策の医療連携に関する研修会

区分	内容
日程	<p>【東部】 令和6年1月29日（月）19:15～21:00 三島商工会議所大会議室（三島市一番町2-29）</p> <p>【中部】 令和6年2月8日（木）19:15～21:00 もくせい会館第1会議室（静岡市葵区鷹匠3-6-1）</p> <p>【西部】 令和6年2月9日（金）19:15～21:00 浜松総合庁舎1階 大会議室（浜松市中区中央1-12-1）</p>
開催方法	実施・オンライン併用
講師	<p>【東部】 順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経外科 教授 山本拓史先生 岡村記念病院 循環器内科 主任部長 保坂文駿先生</p> <p>【中部】 静岡県立総合病院 脳神経外科 医長 宮腰明典先生 静岡市立静岡病院 副院長 縄田隆三先生</p> <p>【西部】 聖隷浜松病院 神経内科 主任医長 本間一成先生 一般社団法人静岡県医師会 理事 小野宏志先生</p>
対象	<ul style="list-style-type: none"> • 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、理学療法士、作業療法士等の医療従事者 • 行政関係者 • その他循環器病対策に関わる方 等

【令和5年度】脳卒中の病院前スケールの活用に関する研修会

区分	内容
日程	【東部】 令和6年2月2日（金）17:00～18:00 三島商工会議所4階 会議室B（三島市一番町2-29） 【中部】 令和6年2月7日（水）15:30～16:30 静岡県立総合病院 臨床教育講義室 （静岡市葵区北安東4-27-1） 【西部】 令和6年2月14日（水）17:00～18:00 浜松総合庁舎 大会議室（浜松市中区中央1-12-1）
開催方法	実施・オンライン併用
講師	【東部】 順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経外科 教授 中尾保秋先生 【中部】 静岡県立総合病院 脳神経外科 医長 新井大輔先生 【西部】 浜松医科大学医学部附属病院 脳神経外科 病院講師 根木宏明先生
対象	• 救急隊員、消防隊員、消防本部勤務の方 • 行政関係者 • その他循環器病対策に関わる方 等